

令和3年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第2講座を開催して】

8月5日(木)に美東センターにおいて、令和3年度美祢市人権教育ふれあい講座(第2講座)が開催されました。

『犯罪被害者と家族の問題』をテーマに、山口県被害者支援センター 直接支援員 中谷 加代子(なかに かよこ)氏から、「歩(あゆみ)と生きる」と題して、御講演いただきました。

御自身の最愛の娘である歩さんの命を、事件によって奪われるという本当につらく悲しい御経験をお話くださり、その言葉の重みに、大変感銘を受けました。お話の中で、「加害者が『生きることに真剣に向き合っていたら』『相手を大切にすることを知っていたら』この被害はなかったかも」とお話しされていましたが、御自身がこの事件のつらさ、悲しさ、苦しさに向き合い、考え続けられたからこそその言葉であると感じました。中谷さんの「1つでも多くの犯罪をなくしていきたい」という強い思いは、多くの受講者の心に響いたことと思います。被害者の家族としての生の声は「生きる」ということ、「命がある」ということを真剣に考えさせていただく機会になりました。



【受講者の主な感想】

- 語りにくいことを語ってくださっていることに感謝します。
- 命の大切さを改めて考えました。事件・事故がなくなりますようにと祈らずにはられません。被害者も含め、みんなが笑える毎日でありたいと思いました。
- 同じように私にも20代の娘がいるので自分のことに置き換えて考えました。つらさがよく伝わりました。他人の命を奪う権利は誰にもありません。
- 命の重さ、人と人とのつながりの重要さをとても感じました。
- 犯罪被害者の切々たる思いが伝わってきた。『生きるということ』を真剣に考え、『周りの人のことを大切にすること』を考えていたら事件は起きなかったのでは。」という言葉が心に残った。
- 加害者が「生きることに真剣に向き合っていたら」「相手を大切にすることを知っていたら」この被害はなかったかもと言われた。本当にそう思う。“相談”に乗ることの大切さを感じた。
- 昨日、未解決事件犯人逮捕の報道があり、今日の講座は他人事ではないような気がした。被害者になりうることを、被害者が近くにいるかもしれないことを考え、生きるということは今一度見直していきたい。
- 講師の先生の本当に心からのお話をお聞きし、この公演をたくさんの方や子どもたちに聞いてほしいと思いました。そして、心の教育を広めていきたいと感じました。
- 犯罪被害者の方のお話を直接お聞きする貴重な機会でした。被害者の立場から物事を考え

ることはこのような機会をいただかないとなかなか難しいと思います。具体的に考えることができました。相談できることの大切さを教えていただきました。

- 被害者の家族のお話を聞いたのは2度目。淡々と話される姿に胸をうたれます。被害者は事件を予測できないのですね。
- 被害者の家族としての1つ1つの言葉の重みで胸が張り裂けそうだった。想像以上の苦しみだったと思う。娘をもつ父親として、1日、1日の娘との時間を大切にしていきたいと強く思いました。
- 被害者家族の生の声を聞く機会はなく、貴重な経験をしました。
- 被害者の御家族から直接お話を聞くことができ、貴重な経験となった。
- 受講した自分の心の準備が不十分なためか、テーマが重く受け止めきれないつらい気持ちになりました。このような話を話していただき、何か自分にできることを考えたいと思いました。
- 生命の大切さについて、学校教育の中で、しっかりと行っていく必要がある。相談の大切さについてもあらためて考えさせられた。
- 被害者の立場になって周りの人に感謝できるかわからないのに、講師の方は周りの人にたくさん感謝していてすごいと思いました。
- そうだよなって考えさせられた。人それぞれで対応って難しいなと思った。
- なかなか被害者からお話を聞ける機会がないので、講師の中谷さんのお話を聞くと胸が締め付けられる思いだった。
- 素晴らしいお話に感銘を受けました。娘を亡くす（しかも殺人）という本当につらい事件にあわれながら、1件でも事件や事故がなくなるようにという思いで活動していらっしゃるお姿に心から敬服しています。中谷さんのこれからの御活躍、心から応援しています。ありがとうございました。
- 心にジーンと響く内容でした。絵本や歌についても知りたかったです。
- 講師のお話に取り込まれました。完全に感情移入してしまいました。被害者支援の為には、二次被害者の防止、「普通」に接することを意識したいと思いました。
- もし自分の子供が…と考えると生きた心地がしません。そんなお話をこのような場でしてくださり、本当にありがとうございました。子どもとの対話を大切にしていこうと思います。
- 当時の事件を思い出しました。どんなにつらい悲しい気持ちだったか、想像するだけで涙が止まりませんでした。普通に接すること、難しいとつくづく思いました。
- 犯罪被害者の方のお話を生で初めて聴きました。自分も同じくらいの娘がいるので、同じようなことになったら自分なら気が狂うと思います。よくそれを乗り越えられて、今日、その辛い体験を少しでも世の中のために使われているところが素晴らしいと思います。今日のお話を生かしていきたいと思います。
- 初めて犯罪被害者の方のお話を生で聞くことができました。私の妹が歩さんと同い年なので、妹の事と重ねながら聞いていました。今までの考え方が違っていたところもあり、お話が聞けて良かったです。ありがとうございました。
- この想いをした人でないと言えない想いだ。
- 加害者、被害者の気持ち：本音を聞くことができ、とてもよい時間になりました。ありがとうございました。
- 娘の命があること、自分や妻の命があることに改めて気づきました。本当に苦しい思いをされていたと思います。その中でもお話をしてくださり、本当にありがとうございました。
- 中谷講師は、死刑に関して被害者家族が全員死刑を思うわけではありませんと言われたが、亡くなられた娘さんの確認にいかれた帰りに犯人が目の前に現れたら何をするかかわらないと言っておられた。その辺りの想いはどうでしょう。